

Nam mo naa la!

ナンモナー

平成28年度1次隊、コミュニティ開発セネガル派遣の門田です。Kaffrine10月号のお届けです。

先月体調を崩し貧血で倒れ前歯を折ったため、歯科治療のためしばらく首都に滞在していましたが、今月半ばにやっと任地に戻ってきました。戻ってくると道端に大量のスイカが並び、家にバツが溢れる季節となっていました。気候も雨季から乾季に移行したようで、朝晩がだいぶ涼しくなり、雨の降る頻度もかなり減ったように思います。活動の方はまだまだスローペースで焦りもあつたりしますが、少しずつ知り合いが増えてきたり、先日はじめて学校見学に行ったりと、資料の分析から実地の検証に移る足掛かりができてきたような気がしてワクワクしています。とはいえ健康が一番大事であることを先月身をもって学んだので、身体に無理のない範囲でゆっくり進めていきます。

* 上記のNam mo naa laは『あなたがなくて寂しかったよ!』という意味だそうです。ダカールから戻ってきた私にいろんな方がこの言葉をかけてくださり、とても嬉しかったです。この言葉をかけられたら、『Maa la raw(マアラオ)』『私もだよ!』と返してあげてください。



今月の活動内容

calender	
10/12	任地に戻る
10/14	JICAスタッフの来訪
10/25	校長会議出席
10/26	PAAMEPJ会合出席

- ・月末にあった県内の校長先生が一同に集まる会議は、先生方の前でご挨拶させてもらえたこともあり、学校の先生の知り合いを増やすよい機会となりました。来月には知り合いとなった先生の学校を訪問しCGB活動の調査を実施します。
- ・PAAMEというJICAがセネガルで実施しているプロジェクトの会合がカプリンであり、参加させていただきました。CGEの機能化も取り扱っているプロジェクトなので、PAAMEPJの持つ情報を自身の活動に活かしたり、私が今後収集する現場の状況をPAAMEPJに共有したりと、うまく連携をとっていけたら素敵だなと思います。
- ・カウンターパートや配属先長と、今私が何をしているのかという仕事の状況共有が十分に出来ていないと感じたため、今月から月次報告書を配属先に提出することになりました。

PAAMEプロジェクトって何？PAAMEプロジェクトと私の要請の関係について

日本のODAを担うJICAが実施している事業のひとつとして青年海外協力隊があり、その枠組みの中で私も今回セネガルに来ているわけですが、JICAは他にも様々な形で途上国支援を行っています。そのひとつの枠組みに、技術協力プロジェクトがあり、こちらは私のような素人ではなく、各分野の専門家の方がプロジェクトメンバーとなり活動されています。JICAがどのような支援を行っているかは、JICAのウェブサイト上(ODA見える化サイト<https://www.jica.go.jp/oda/index.html>)で確認できます。(日本の税金で実施されている活動がこのように誰にでも見える形できちんと情報公開されているのは当然と言えば当然ですが、素敵だなと思いました。)今月私が会合に参加させていただいたPAAMEプロジェクト(Projet d'Amélioration des apprentissages en Mathématiques à l'Elémentaire)は、日本語では初等教育算数能力向上プロジェクトと言い、2015年9月～2019年8月の期間で実施されるプロジェクトとなっています。

(参考)協力プロジェクトの現場を紹介”ODA見える化サイト <https://www.jica.go.jp/oda/project/1400293/index.html> より

『1990年に約6割であったセネガルの初等教育総就学率は、2013年には約9割に達し、大きな改善がみられる一方、急速な就学者数増加に対し、十分な能力を伴った教員の養成および増員が追いついていません。また、進級できなかつたり中退したりする児童も多く、総修了率は約6割程度に留まっています。この協力では、初等教育教員がより良質な授業を実施するために、算数分野の教員用参考書の開発や授業での活用を支援するとともに、学校運営委員会の枠組みを活用したコミュニティによる児童の学力向上のための取り組みを支援します。これにより、同国の初等教育における児童の算数学力の向上に寄与します。』

このように、PAAMEプロジェクトでは学校運営委員会の枠組みを活用した児童の学力向上支援もプロジェクトの取り扱う範囲となっており、私の活動の要請内容とも関連するところが多くあるので、PAAMEプロジェクトの今後の動向を注視し、協力していければと思っています。

【青年海外協力隊とPAAMEプロジェクトの関係イメージ】



セネガル人はどうやってお金を稼いでいるのか？

民間企業が少ない？セネガルの経済構造と教育への影響を考える

セネガルに来てから気になっていたことのひとつに、民間企業が少ないような気がする、というのがありました。あまりビジネスマンのような格好をした人を見ないことや、輸入品が多いこと、街を歩いていて自分のイメージするオフィスビルが無いこと。また、市場で見る野菜売りや至る所にあるブティックと呼ばれる個人商店、ダカールに多くいるバナバナと呼ばれる物売り。漠然とですが、この国では、会社に就職する、という働き方よりは、個人で商売をやってお金を稼ぐ、という方が主流なのかなという印象を受けます。民間企業が少ない、ということは、会社勤めの人が給料から差し引かれている税金や、法人税の収入分、政府の税金の収入が少ないことにつながります。そしてそれが政府が使用できる予算の低さにつながり、結果的に公務員である学校の先生のお給料の低さや教員不足、教材不足など現場レベルの予算のなさにつながるのだと思うと、教育状況を改善しなければ民間企業を増やすというアプローチも必要のように感じました。また、セネガルの子供がよい教育を受けて、大学を出たとしても、民間企業が増えなければ働き口が無い、という問題もあるように思います。今ダカールでは新しい空港を建設したり、道路を建設したりとインフラ整備が着々と行われている様子を見ることがありますが、インフラが整備され、移動に便利な都市になれば、セネガルに拠点を置く企業も増えてくれるのかなと思ったりしています。

(参考)セネガルとカーゴバルデを知るための60章 小川了編著 明石書店 2010年 (P74,P75) より

『ところで、以上にみたフォーマル経済に加えて、課税対象から外れているため数字が表に表れてこず、それゆえに社会保障の対象にもなっていないような経済活動(インフォーマル・セクター)にも注意を払いたい。(中略)インフォーマル・セクターであるだけにその実態を把握するのは困難であるが、インフォーマル・セクターが経済全体に占める割合は60%(2003年)に達するという調査結果をセネガル政府自身が追認していることに加えて、世界銀行が2007年8月、セネガルを含む西アフリカ諸国で新たに創出される雇用の97%がインフォーマル・セクターによるものであると発表するなど、インフォーマル・セクターが国民経済のかんりの割合を占めていることは否めない(World Bank,2007)』



引越してきて3カ月、やっと部屋に窓が設置されつつありますが、完成してないのにすでに窓ガラスが割れています…不安。

CGE実地調査への第一歩

CGEとは何か？
を調査CGEの
現状調査

今ココ

課題
整理課題への対応
方針を検討対応策を
実行

評価

10月は、各CGEが作成している年間活動報告書を分析し、CGEが機能している学校をいくつかピックアップして訪問してみるぞ！と意気込んでいたのですが、カウンターパートに報告書を見せてくれと頼んだら、どこにあるのかわからないことが判明…探しておくよと言ってはくれたものの、これでは学校のピックアップができない、この学校にいけばいいかわからない、困った…。ということで、報告書が見つかるまでの間は、学校の様子を把握したり、校長先生のCGEに対する認識を探るために、近場の学校を手当たり次第訪問することになりました。

学校訪問① école1

まずは、配属先から徒歩5分の距離にあるécole1に、アボもとらずに突撃訪問してみました。école1は、とても古い学校でした。カフリン市内で一番最初に建てられた学校だから、école1というのだと、知り合いの先生が教えてくれました。最初の訪問では授業の様子などを簡単に見れたらOKかなと軽く考えていたのですが、校長先生にご挨拶にいき、私はJICAのボランティアで学校の様子を見せてほしいんだと伝えと、どういうミッションで働いているの、質問してくれ、こちらの話に興味を持ってくださいました。その校長先生は10月に着任したばかりなので、まだその学校のCGEの状況はつかめてないとのことですが、カフリンのCGEはあまりうまく機能していないようだ、という認識があるようでCGEの機能向上のために一緒に動きたいと言ってくださいました。最初に訪問した学校でこんなに協力的な人に会えるとは思っていませんでした。今の方針としては、機能しているCGEの情報を収集するということで動いていますが、他の学校で収集した好事例を、こうした意欲のある校長先生のいるCGEに紹介し、その学校のCGEの機能向上に貢献したいです。

学校訪問② école11

école11も配属先から徒歩10分程度の距離にある学校です。こちらの学校は、とても新しい校舎が印象的でした。日本が出資して2009年に建てられた学校とのことです。こちらの学校の校長先生は、école1の校長先生と比べるとこちらにあまり興味を持ってきていない感じで、CGEもうまくいっている、との返答でした。しかし、先生の中に協力的な方がおり、CGEの機能化を支援する仕事をするんだと伝えと、次にCGEの会合があるときに呼ぶよ、と言ってくださったので、この学校でも今後CGEの活動の様子を見ることが出来そうです。école11を訪問したときはちょうど休み時間だったのですが、その間に生徒が教室の掃き掃除をしていました。教室を清潔に保つ必要がある、という概念がちゃんと根付いていて素晴らしいなと思いました。



École1:外観



École1:授業風景



École11:校舎



École11:授業風景



École11

セネガルの教育に関する基礎情報

セネガルの教育制度はフランスの教育制度を基本的に踏襲しており、日本の教育制度とは少し異なるところがあります。また、イスラム教の教育に及ぼす影響も押さえておくべきポイントのように思います。ここでは、自身の理解を深めるために、セネガルの教育基礎情報を、簡単にまとめておこうと思います。

教育課程と学年の呼び方 *1

教育課程は就学前教育、初等教育、前期中等教育、後期中等教育、技術職業訓練教育、高等教育で構成されており、義務教育となるのは日本の小学校にあたる初等教育(6年間)と日本の中学校にあたる前期中等教育(4年間)で、無償化されています。それぞれ学年の呼称は、小学校1年生から順にCI,CP,CE1,CE2,CM1,CM2となっています。ちなみに、中学校、高校の学年の呼称は、中学校1年生から順に6年生、5年生、4年生、3年生、2年生、1年生、最終学年、と数字がだんだん小さくなるような呼び方になっており少々ややこしく、この呼び方に慣れるのに時間が分かちそうです。

■教育課程		■小学校の学年の呼称	
就学前教育	義務教育	1年生	CI
初等教育 (小学校)	6年間	2年生	CP
前期中等教育 (中学校)	4年間	3年生	CE1
後期中等教育 (高校)	3年間	4年生	CE2
高等教育 (大学)		5年生	CM1
		6年生	CM2

フランス語での授業

セネガルは多民族国家で、一応フランス語が公用語、ウォロフ語が国民言語ということになっていますが、民族によって日常的に使われている言語が異なります。しかし、学校では、小学校1年生からいきなり算数も体育も公用語のフランス語で授業が始まります。これでは子供もボカーンとするしかないでしょうし、教える先生がどのように授業をコントロールするのか想像がつきません。そういえばセネガルでホームステイをしたときの家庭では、家族が4歳の子供にフランス語を教えていました。今思えば小学校に入学したときに困らないように家庭で教育していたのだと思います。今度学校を訪問するときには、10月に入学したばかりであるはずのCIの授業を見学し、どのように授業が行われているのかを見てこようと思います。

ダーラとフランコ・アラブ学校 *2

セネガルでは普通の学校のほかに、ダーラと呼ばれるコーランを学ぶための学校や、フランコ・アラブ学校と呼ばれるアラビア語によるイスラーム教育とフランス語による公式教育課程を融合させた学校があります。イスラム教徒が90%以上を超えるこの国では、一部の保護者はフランス文化の影響を危ぶみ、公立のフランス語で行われる学校ではなく、ダーラやフランコ・アラブ学校に子供を通わせることがあるそうです。ダーラは非正規の教育ですが、セネガルではほとんどすべてのイスラーム教徒の子供達が一定期間ダーラに通い、主にコーランやイスラム教の礼儀、お祈りの作法を学ぶそうです。セネガルで路上を歩いていると必ず、小さなバケツのような入れ物を持って、お金ちょうだい、と言ってくる少年たちに出会います。タリベと呼ばれるこの少年たちは、ダーラに通っています。どうしてタリベは物乞いをしないといけないのでしょうか。そういうしきたりとか慣習なのかと思いつつも、タリベに出会う度になんとなく腑に落ちない気持ちになります。いずれダーラの仕組みやタリベの状況を調査できればいいなと思います。セネガルの教育省は、就学率改善のために一部のイスラム教育機関を公的機関として認可したり、公立のフランコ・アラブ学校を建設するようになったとのこと。私の配属先にもフランコ・アラブ学校を管轄する部門があります。フランコ・アラブ学校が普通の学校とどのように異なるのか、こちらもいずれ視察に行きたいです。

来月の予定

calender

11/14~16 4カ月オリエンテーション@Dakar

11月は、引き続き学校訪問を行うと、年間活動報告書が見つかり次第、活動実施率の高い学校をいくつかピックアップし訪問してみようと思います。また、10月に訪問できなかったシクロ及びブレルという地域のCGEの活動状況を実施したいです。

そのうちやりたいこと

- 配属先組織図作成 終了
- 学校の先生の一泊/年間スケジュールの把握
- CGE成果発表会の可能性模索 着手
- カフリン県地図づくり 着手
- PTAの歴史調査
- 仏語での活動報告書作成 実施
- 地域の掃除
- 村落部訪問

スイカー玉300fcfa(約60円)。安くて美味しいです。

リソース情報

*1 http://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/world_school/07africa/infoC72800.html

*2 http://world-diary.jica.go.jp/sakogashira/person/post_11.php